

第3部

安全とつながるおいのある
快適空間のまちをつくる

第1

安全で快適な道路の整備

①

都市計画道路網の整備の推進

都市の骨格形成や交通ネットワークなどを図るため、都市計画道路の整備方針に基づき、東京都および近隣市区とも連携して都市計画道路網の整備を推進します。



都市計画道路

②

街路灯のLED化による省エネルギーの推進

街路灯の照度を確保しつつ、省エネルギー化を推進していくため、リース方式によるLED化を図ります。

③

東京外かく環状道路などに対する検討と国などへの要請

国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実施されるよう、国・東京都に強く要請していくとともに、工事期間中の交通安全対策および防犯対策についても、適切な対応が図れるよう取り組みます。

第2

緑と水の快適空間の創造

①

ふれあいの里などの整備および周辺の景観づくりの推進

東京外かく環状道路整備事業に伴う新たなふれあいの里の創出として、北野の里(仮称)の設置に向けた取り組みを進めます。

②

安全で安心な公園づくりの推進

老朽化した木製遊具などの計画的な

交換や、公園ボランティアなどと連携した安全管理の充実を図ります。



牟礼の里公園

③

市民、事業者と協働で取り組む民有地の緑化の推進

住宅の密集する市街地において、民家の接道部での緑化を推進するために、東京都の「界わい緑化推進プログラム」を活用し、効果的に市内の緑化を推進します。

第3

住環境の改善

1

住環境の改善

①

都市計画制度の活用による良好な都市環境の形成(用途地域などの見直し)

三鷹市の土地利用における課題などから見直しの視点や方向性を明確化し、それぞれの地域特性が活かされるように土地利用を規制・誘導していきます。

②

空き家対策の推進

適切に管理されていない空き家は、周辺の住環境に深刻な影響を及ぼすため、市内外の関係機関との連携により、所有者などによる自主的な対応を促す取り組みを進めます。

③

地区計画制度などの活用

三鷹台駅前周辺地区や東京外かく環状道路の中央ジャンクション周辺地区などにおいて、それぞれの地域特性を活かした良好なまちづくりを進めるた

め、地区計画制度などの活用を検討します。

2

安全安心のまちづくり

①

安全安心・市民協働パトロール体制の拡充

市民や警察など関係機関との連携を強化し、子どもの通学路における安全確保や高齢者に対する詐欺被害防止啓発なども含めた安全安心・市民協働パトロールを拡充します。

②

振り込め詐欺などの特殊詐欺対策の強化

振り込め詐欺などをはじめとした特殊詐欺の被害防止を図るため、高齢者の集いなどに合わせて啓発活動を充実するなど、詐欺被害防止対策を強化します。

③

防犯カメラの設置などによる地域防犯力の向上

犯罪の防止を目的に自治会や商店会などのみなさんが公共の場所に設置する防犯カメラを、東京都と連携して設置経費の補助を行うなどして支援します。

第4

災害に強いまちづくりの推進



安全安心パトロール車

①

在宅避難者などの支援に向けた災害時在宅生活支援施設整備とミニ防災ひろばづくりの促進

災害時などに、自宅などでの避難生

活を支援するため、災害時在宅生活支援施設や防災機能を持った公園などのミニ防災ひろばの整備を行い、防災活動や訓練などを通して、市民の自助および地域の共助の強化を進めます。

②

公共施設のさらなる耐震化の推進

災害時に避難所となる学校などの防災上重要な公共建築物について、平成30年度までに耐震化率を100%とすることを目標に耐震化を図ります。

③

防災出前講座の実施と市民防災協力員の育成

市民のニーズに応じた防災出前講座を積極的に開催し、自助や共助の強化に取り組みほか、災害時に迅速な応急対策活動を行うため、市民防災協力員の育成を図ります。

第5

都市交通環境の整備

①

都市再生と連携したみたかバスネットの推進

新川防災公園・多機能複合施設(仮称)や杏林大学井の頭キャンパスなど、

今後の都市再生事業との連携を図りながら、既存ルートの見直しを検討します。また、路線バスとの連携を強化しながら、利便性の高い乗り継ぎ方法の検討など、利用環境の改善を行います。

②

サイクルシェア事業に向けた社会実験の実施と検証

既存の駐輪場を効率的に活用し、「放置自転車数の減少」「環境負荷の軽減」「まちの活性化」などが期待できるサイクルシェア事業に向けた社会実験を実施し、検証を行います。また、社会実験に向け、ミニ実験を実施し準備を進めます。

③

交通管理者や地域などと連携した自転車事故防止に向けた交通安全施策の推進

自転車に関連する事故などの増加から、警察署などの関係機関と連携し、交通ルールの周知やマナー向上に向けた指導の強化を図るとともに、自転車安全講習会の受講者拡大を図ります。

第1部 まちづくり指標					
	計画策定時	達成値	目標値		
	平成22年度	平成26年度	平成26年(前期)	平成30年(中期)	平成34年
英語版ホームページのアクセス件数(行政指標)	34,677件	60,359件	40,000件	75,000件	80,000件
平和推進関連事業の参加者数(行政指標)	2,665人	3,543人	2,900人	3,600人	3,700人
市の行政委員会・審議会などにおける女性委員の割合(行政指標)	38.8%	41.0%	42.0%	46.0%	50.0%

第2部 まちづくり指標					
	計画策定時	達成値	目標値		
	平成22年度	平成26年度	平成26年(前期)	平成30年(中期)	平成34年
市ホームページのアクセス数(行政指標)	2,274,948件	2,712,200件	2,500,000件	2,850,000件	3,000,000件
農家の直接販売所数(協働指標)	149力所	147力所	157力所	増加	増加
SOHO集積施設および入居事業者数(協働指標)	8施設 98事業者 (平成20年度)	12施設 104事業者	16施設 160事業者	14施設 120事業者	16施設 140事業者
観光案内所訪問者数(協働指標)	24,876人	28,265人	26,000人	30,000人	32,000人
市民協働者数※1(協働指標)	－	52人	－	60人	70人
消費者活動センターの利用者数(行政指標)	35,949人	35,691人	37,000人	38,000人	40,000人
「主要5事業※2」の達成状況(着手・継続)(協働指標)	0件(－)	1件(⑤)	3件(①②④)	3件(①②④)	3件(①②④)
「主要5事業※2」の達成状況(完了)(協働指標)	0件(－)	0件(－)	0件(－)	2件(④※3 ⑤)	1件(⑤)

※1 観光協会の企画委員数、観光応援隊の登録人数

※2 「主要5事業」

①三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業

②区域内幹線道路第2期整備事業

③中央通り買い物空間整備事業

④三鷹台駅前周辺地区まちづくり推進地区整備方針の策定および三鷹台駅前広場整備事業などの実施

⑤新川(防災公園・多機能複合施設(仮称)整備事業

※3 ④の整備方針の策定は、中期で完了します。

第3部 まちづくり指標					
	計画策定時	達成値	目標値		
	平成22年度	平成26年度	平成26年(前期)	平成30年(中期)	平成34年
都市計画道路整備率(行政指標)	41.9%	43.8%	54.7%	59.9%	63.6%
市域面積に対する公園緑地などの割合(行政指標)	4.60%	4.72%	4.90%	5.26%	5.48%
バリアフリー化に取り組んだ公共施設・店舗などの総件数(行政指標)	225件	300件	290件	355件	420件
安全安心・市民協働パトロールへの参加人数(協働指標)	2,262人	3,109人	2,600人	3,300人	3,500人
防災訓練参加者数(協働指標)	16,666人	24,521人	18,700人	25,500人	27,000人
駅前地域の放置自転車の台数(行政指標)	302台	97台	200台	90台	80台以下